（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐりーん田原本支店			
○保護者評価実施期間	2026年　9　月　1　日	～	2026　年　9　月　30　日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	22名	（回答者数）	10名
○従業者評価実施期間	2026　年　9　月　1　日	～	2026　年　9　月　30　日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7名	（回答者数）	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026　年　10　月　28　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さま一人ひとりの発達や特性に合わせた課題を設定し、それぞれのペースに応じた支援を行っています。小さな成長や成功体験を大切にし、自信を持ってさまざまなことに挑戦できるようサポートしています。	個々のペースを大切にしながら、できることを少しずつ増やし、苦手なことにも安心して挑戦できる環境を整えています。	無理なく楽しみながら「できた！」という成功体験を積み重ね、自信や意欲につなげていきます。日々の取り組みを通して、お子さまの可能性を伸ばし、自立に向けた力を育んでいきます。
2	一人ひとりの頑張りや良いところを認め、小さな成功体験を積み重ねることで、自己肯定感を高める支援を大切にしています。自分に自信を持ち、意欲的に活動に取り組めるよう、一人ひとりの成長に寄り添います。	課題に取り組む過程や努力を認め、できたことを一緒に喜ぶことで、達成感や自己肯定感を育んでいます。	お子さまの頑張りや良いところを職員間で共有して関わり方をそろえ、前向きな気持ちで毎日を過ごせるようにしていきます。
3	生き物とのふれあいや、豊富な学習教材を生かした支援を行っています。	生き物の様子を観察したりお世話をしたりする中で、やさしさや思いやりの気持ちを育んでいます。ひらがな・カタカナカードや計算プリント、タブレット教材など、理解度に合わせた教材で学習に取り組んでいます。	生き物が苦手なお子さまは見るだけの参加から始めるなど無理のない形を大切にしながら、教材や活動の幅を広げていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	複数のお子さまが同時に支援を必要とする場面では、一人ひとりに応じた細やかな対応が難しいことがあります。	活動の切り替えや下校後の到着が重なる時間帯に、支援を必要とする場面が同時に起こりやすいため。	スタッフ間の情報共有や役割分担を工夫し、個々の特性やニーズを把握しながら、より適切な支援が行える体制づくりに努めていきます。
2	事業所内のスペースに限りがあります。	活動室が限られており、体を動かす活動と机上の活動を同時に行いにくいため、活動の順番などの調整が必要になります。	活動内容や環境設定を工夫し、仕切りや個室も活用しながら、活動に応じた空間の使い分けや物品の整理整頓を行い、限られたスペースを有効に活用してまいります。
3	保護者の皆さまへの情報の伝わり方が十分ではありません。	保護者評価で、地域交流(わからない6名)、マニュアルの周知(5名)、避難訓練(4名)、自己評価結果などの発信(3名)、家族向けの研修・情報提供(3名)に「わからない」の回答が多くありました。HPで公表・発信している内容が、十分に届いていないと考えています。	HPの「情報公開」「安全・安心への取り組み」、活動ブログ、コラム、ペアトレ練習のページを、連絡帳や面談の機会にご案内します。避難訓練などを行ったときも、保護者の皆さまにお知らせします。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ぐりーん田原本支店

公表日　2026　年　10　月　30　日

利用児童数 22名　　回収数 10名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	3		3		活動の順番や物の配置を工夫し、仕切りや個室も活用して、限られたスペースを有効に使えるようにします。祝日や長期休暇には、公園など地域の遊び場へのおでかけも取り入れています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	2		3	先生に聞きたいときに忙しそう。	送迎時や連絡帳でもご質問をお受けしています。保護者の皆さまが安心してご相談いただけるよう、職員間で役割分担を見直し、必要に応じて面談の時間を設けます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	2		2		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	10					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			2		ホットケーキやピザづくり、公園での秋さがし、科学館への外出など、活動が固定化しないよう工夫しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	1	6		公園や科学館へのおでかけで、地域の中で過ごす機会はつくっています。放課後児童クラブや児童館、地域のこどもとの交流は少ないため、地域の行事への参加を増やせるよう検討します。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	1	3		HPで保護者向けコラム(毎月)や無料の「おうちでできるペアトレ練習」を公開し、半年に1回のモニタリング・保護者面談で家庭での関わり方のご相談をお受けしています。今後は保護者向け研修の開催も検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	1	1		人によると思います。	気持ちに寄り添った共感的な支援ができるよう、職員間で支援方針や対応方法の共有を図ってまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	3	3		現在、保護者会やきょうだい向けの交流会は開催していません。保護者同士・きょうだい同士が交流できる機会をつくれるよう検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	4		3		支援プログラムと自己評価結果は、HPの「情報公開」ページで公表しています。日々の活動は活動ブログやSNS、子育てのヒントは毎月のコラムで発信しています。今後は連絡帳などでもご案内します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4		1	5		安全計画・BCP・虐待防止・感染症対策の取り組みや、けが・災害時の対応は、HPの「安全・安心への取り組み」で公開しています。今後、保護者の皆さまにご案内します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	1	4		非常災害計画にもとづき、毎年スタッフによる避難訓練を行っています。災害などの緊急時は、ご利用中のご家庭へLINEで一斉にお知らせします。今後は訓練を行ったときにもお知らせします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	7	1		2		安全計画にもとづく取り組みは、HPの「安全・安心への取り組み」で公開しています。今後、保護者の皆さまにご案内します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	2		1		けがや体調の急変があったときは、必ず保護者の方にご連絡し、状況をご説明しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ぐりーん田原本支店

公表日　2026　年　10　月　30　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	いろいろな活動ができるよう活動の時間帯を調整し、祝日や長期休暇には公園など地域の遊び場へのおでかけも取り入れている。	ボール遊びなどができるスペースが少ないと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	2		利用人数やお子さまの状態に応じて、職員の配置を見直していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者による外部評価は受けていない。今後、受審を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後に限らず、気になった点はその都度職員間で話し合っている。	支援終了後の打合せは毎日は行えていないため、短時間でも振り返りの時間を確保する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	5	1		地域の児童発達支援センターとの連携の機会を増やすよう努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1		放課後児童クラブや児童館との交流の機会が少ない。地域の行事への参加などを検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3		協議会等への参加の機会を増やす。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		HPで保護者向けコラム(毎月)や、無料の「おうちでできるペアトレ練習」を公開している。半年に1回のモニタリング・保護者面談で、家庭での関わり方の相談を受けている。	保護者が参加できる研修会の開催を検討する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		保護者会やきょうだい同士の交流の機会は設けていない。交流できる機会をつくれるよう検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		HPの活動ブログ・コラム、Instagram・XなどのSNSで発信している。支援プログラムと自己評価結果は、HPの「情報公開」ページで公表している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		地域住民を招待する行事は行えていない。地域に開かれた行事の開催を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		安全計画・BCP・虐待防止・感染症対策の取り組みをHPの「安全・安心への取り組み」で公開している。	各マニュアルの内容を、保護者の方にも説明・お知らせする機会を設ける。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		非常災害計画にもとづき毎年スタッフによる避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6		医師の指示書は受け取っておらず、保護者からの聞き取りで対応している。今後は保護者に医師の指示書の提出をお願いし、それにもとづいて対応する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
心	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			